

2017年度第7回執行理事会議事録

期 日：2018年1月20日（土）13:00～17:00

場 所：地質学会事務局

出席者：松田副会長 齋藤常務理事 安藤
緒方 岡田 小宮 坂口 杉田 内藤
西 中澤 平田 廣木（事務局）橋辺

欠席者（委任状提出あり）：渡部会長 田村
辻森 山田

*定足数（12、委任状含む）に対し、出席者
13名、委任状4名、合計17名の出席。

*前回議事録は異議なく承認された。

I 審議事項

1. 地球惑星科学分野新規大型研究計画の創
出について

第24期日本学術会議地球惑星科学委員会及
び地球・惑星圏分科会の協同による大型研究
計画の永続的支援と新規計画についてのヒア
リング（3月28日（水））に向けて

・1月中にGeo-Flashで会員・専門部会長に周
知し応募案を募る。

・提案計画を執行理事会として取りまとめ
て、大型研究提案を行う。

2. 防災学術連携体より次期の防災連携委員
員について交代があれば推薦の依頼（5/31期限）

・5月、新年度の理事会後に決定。

3. シンポジウム「学術研究にもとづく日本
地質学会のジオパークへの貢献」（ジオパ
ーク支援委員会提案）の開催について（平田）

・5/19総会・新年度理事会の後にミニシン
ポジウム開催を承認（北とびあ 17:30～
20:30）

4. 会長、副会長に欠員が出た場合の規則整
備について（山本監事に相談中の案）

・理事会規則整備で行う方針で準備を進め、
次回理事会を経て総会で決定する。

II 報告事項

1. 全体的報告

1) 故山本副会長のお別れ会は、1月26日
（金）、川崎地質（株）、全地連、新潟大学同
級生一同、地質学会が発起人となり開催され
ることとなった。学会および理事会有志一同
でそれぞれ供花をし、会長がお別れのご挨拶
をする。学会として弔意を示すための予算5
万円を承認。

会場 TKP品川ガーデンシティ（品川駅
高輪口1分）

時間 18:00～20:00（開場17:30）

2) 平成30年度大学入試センター試験（本試
験）について（廣木）

理科①、②の中間集計について確認し、本
集計が判明した段階で対応を考える。

3) 日本経済新聞土曜版日経プラスワンの取
材「全国の地層のランキング」に対応し、各
界から選者をお願いした。齋藤）

2. 運営財政部会：総務委員会（緒方・西）

<共催・後援依頼、他団体の募集等>

1) 科学教育研究協議会第65回全国大会（群

馬、8/3-5）の後援を承諾

2) 日本工業新聞社より地盤技術フォーラム
2018（旧 土壌・地下水浄化技術展）の協賛
名義使用依頼を承諾

3) 地球化学研究協会（兼岡一郎会長、1972
年創設）は2018年3月末日をもって解散、同
会主催の「三宅賞」は2018年度から地球惑星
科学連合に引き継がれる。

4) 石油技術協会誌は2018年度より冊子体発
行を中止し、ネット購読への切り替えを実施
する。地質学雑誌は従来どおり寄贈送付す
るが、協会誌のネット購読はしない。

5) 三菱財団自然科学研究助成の公募案内、
応募期間1/10-2/7 ←HP、Geo-flash、News
に掲載

6) 住友財団2017年の助成結果報告、基礎研
究助成102件および環境研究助成44件を採択

7) 千葉県環境生活部環境政策課より、職員
（地質職）募集案内 ←HP、Geo-flashに掲載

8) 石灰石鉱業協会より会長退任（竹内章
氏）の挨拶状、当面副会長（吉澤・松波の両
氏）が代行とのこと。

9) 日本水環境学会第52回年会の案内、
3/15-17、札幌市 ← HP、Geo-flashに掲載

10) 第18回こどものためのジオカーニバル
（後援）の開催報告、11/4-5の2日間の来場者
数は3,500名

<会員>

1) 今月の入会者（3名）

正会員（2名）：金子朋樹、古角晃洋、吉越洸
太郎

2) 今月の退会者

正会員（3名）内園立男、山本力哉、阿部正宏
3) 逝去者（4名）

名誉会員（2名）：岡田博有（2017/12/22）、
堀口萬吉（2017/12/26）

正会員（2名）：生越 忠（2017/4/28）、林
唯一（2017/8/12）

4) 2017年12月末日会員数

賛助：28、名譽：57、正会員：3656（正会
員：3458、正（院割）会員：184、正（学部
割）会員：14）合計 3741（昨年比 -58）

<会計>

1) 次年度予算案のために執行理事会各部会
ならびに専門部会、支部に対して事業計画お
よび予算案の提出を求める。

2) 科研費の残額については返却した。

3) 子どもゆめ基金にかかわる支出手続きも
行った。

3. 広報部会：広報委員会（坂口・小宮・内藤）

・今年度のフォトコン応募数：590件

・ジオルジュの配架先についてジュンク堂本
店と打ち合わせし、主な都市の支店に置いて
もらえることになった。2月にジュンク堂
福岡店でもフェア開催しジオルジュを配布
予定。ジオパークにも廉価で配布を検討中

4. 学術研究部会（岡田・山田）

(1) 行事委員会（岡田）

1) 札幌大会関係

・大会業務委託先についての検討：現在北海
道の業者からの見積もりについて従来の

業者との比較検討中。北海道の業者に対
し、再見積もり依頼中、遅くとも2月中旬
までには決定したい。

(2) 国際交流委員会（井龍）

・125周年記念国際シンポジウムの運営につ
いては行事委員会が主導し、国際交流委員
会を中心に準備を始めるよう、また実行委
員会に対しても行事委員長から要請する。

(3) JIS、標準担当（中澤）

・宮下委員長の下で選定を終了し、現在規格
協会で申請書を審査中。

5. 編集出版部会（中澤・田村・小宮）

(1) 地質学雑誌編集委員会（山路編集委員
長、中澤担当）

1) 編集状況報告（1月16日現在）

・2017年投稿論文：109編（昨年比：+14）
うち通常号原稿：63編、125特集号原稿：

46編 種別内訳：総説37（和文37）・論説
43（和文42 英文1）・報告11（和文10、英
文1）・ノート2（和文2）・講座3（和文3）

・口絵5（和文4、英文1）・巡検案内8）査読
中：47、受理済み：18（うち125特集号7）

・123巻12月号（通常号）：総説1、論説2、報
告2、ノート1（70ページ、12/26発送）

・124巻1月号（125特集）「深海掘削計画
（IODP）10年の成果（その2）」：総説6（計
92ページ、1/23校了予定）

・124巻2月号（通常号）：論説4 or 5（入稿
準備中）

2) 125周年記念特集号状況（掲載予定順）

(2) アイランドアーク編集委員会（田村）

1) 編集状況報告

・外国人著者の和文要旨について、編集委員
会で作成が原則で、対応できない場合に執
行理事会でも助力することを再確認した。

(3) 企画出版委員会（小宮）

・ゆめ基金進捗状況：子どもゆめ基金の作成
コンテンツ（ページ、画像、動画等）を
Websiteに掲載する準備中。3月中提出の報
告書に間に合うように2月を目標に作成中

6. 社会貢献部会（平田・杉田・廣木・辻森）

・5/13に実施予定の街中ジオ散歩（川崎市生
田丘陵）の準備中。案内者にも依頼済み

・案内・広報先や広報の仕方、参加応募者多
数の場合の対処法を検討中

7. ジオパーク支援委員会（平田）

・JGCの審査報告・5月総会時（夜間）にシ
ンポジウム開催を提案（→審議事項）

8. 地学オリンピック支援委員会（平田）

・予選の結果は1月下旬に発表予定。

・とっぷ・レクチャー（3/11）本選選抜をか
ねた講演会（つくば市）を開催。

9. 県の石支援委員会（辻森）

特になし。

以上

2018年3月3日

一般社団法人日本地質学会執行理事会
会 長（代表理事）渡部芳夫
署名人 執行理事 齋藤 真